

令和3年度におけるオキシダント調査事業について（案）

1 事業目的

関東甲信静における光化学オキシダント(Ox)について、濃度分布や経年変化などの汚染実態を把握し、高濃度のOx生成に影響を及ぼすVOC発生源や気象の要因を解析することで、効果的な対策を検討

2 取組内容

- (1) 常時監視データ等をもとに関東甲信静におけるOx及び関連物質の濃度分布や経年変化を把握（2010～2018年度）
 ※ II型共同研究「光化学オキシダントおよびPM2.5汚染の地域的・気象的要因の解明」における結果を活用
- (2) 2020年東京大会開催前及び開催中に、大気中のVOC成分濃度を測定するとともに常時監視データ等を用いて、Ox関連成分の濃度分布及び移動状況を把握

	R2年度	R3年度
(1) 解析調査	基礎解析 (Oxの経年変化や傾向の把握)	詳細解析 (Oxの高濃度事象の検証)
(2) 広域測定	R2測定調査 (夏季5回) 参加は任意(自治体により実施回数は異なる)	Q1 R3測定調査 (夏季)
(2) 結果解析		R2測定結果整理 → R2常時監視データ等を用いた濃度分布把握等
自治体独自のOx関連調査	Q2 R2 VOC測定等 (自治体独自のOx関連調査を実施している場合)	

※ Q1及びQ2は、今回の質問事項

※ 報告書の作成時期は、解析状況等を踏まえて調整する。